



# 『 Managing Cloud Sync for Cloud Volume 』 Cloud Volumes Service

NetApp  
January 17, 2022

# 目次

『 Managing Cloud Sync for Cloud Volume 』 .....	1
Cloud Sync データブローカーの作成 .....	1
Cloud Sync 関係を作成 .....	2
Cloud Sync スケジュールを変更する .....	4
Cloud Sync 関係を削除しています .....	4
Cloud Sync データブローカーの削除 .....	5

# 『 Managing Cloud Sync for Cloud Volume 』

## Cloud Sync データブローカーの作成

NetApp Cloud Sync は NetApp Cloud Volumes Service for AWS と統合されており、クラウドボリュームとの間で NFS 経由のデータを高速に同期できます。Cloud Sync データブローカーを使用すると、データを同期するための Cloud Sync 関係を作成できます。

Cloud Volume アカウントに使用するのと同じ AWS Virtual Private Cloud (VPC) に Cloud Sync データブローカーがすでに含まれている場合は、このタスクをスキップできます。

### "NetApp Cloud Sync のドキュメント"

#### 手順

1. [同期] ページまたは [ボリューム] ページでボリュームの [同期] タブに移動します。
2. [データブローカーの作成] をクリックして、データブローカーを作成します。
3. 次のフィールドに情報を入力します。

- \* 名前 \*

データブローカーの名前を指定します。

- \* タイプ \*

AWS を選択します。

- \* 地域 \*

使用可能なリージョンを選択します。

- \* API キー \*

AWS アカウントのアクセスキーを指定します。

- \* 秘密鍵 \*

AWS アカウントのシークレットキーを指定します。

- \* キーペア \*

使用可能なキーペアを選択します。

キーペアは、有効なキーを入力すると更新されます。

- \* VPC \*

Cloud Volume アカウントに接続されている VPC を選択します。

- \* サブネット \*

データブローカーに使用する使用可能なサブネットを選択してください。

Create data broker

**i** A virtual machine will be created in AWS CloudFormation. The data broker will become active and available when that machine is ready and running and then you will be able to create sync relationships.

Name Required: Syncer2

Type Required: AWS

Region Required: US West (N. Californi)

API key Required: AKIAJO62GPZI44QTODKA

Secret key Required: .....

Keypair Required: cv-pm

VPC Required: vpc-48b4c22f

Subnet Required: subnet-c6b9f89d (us)

Cancel Create data broker

4. [データブローカーの作成 \*] をクリックして、データブローカー作成プロセスを開始します。

データブローカーの作成には数分かかります。作成されたデータブローカーは、準備が完了したことを示す緑の点でマークされます。

に進みます "Cloud Sync 関係を作成しています"。

## Cloud Sync 関係を作成

Cloud Sync 関係により、クラウドボリュームとの間でデータを同期できます。

作業を開始する前に

- Cloud Sync データブローカーが必要です。

"Cloud Sync データブローカーの作成"

- ソースボリュームとターゲットボリュームの両方について、データブローカーの IP アドレスがエクスポートポリシーに追加されている必要があります。

ターゲットボリュームのエクスポートポリシーで、データブローカーへの書き込みアクセスを許可する必要があります。

"追加のエクスポートポリシールールを作成しています"

Cloud Volumes Service に統合された Cloud Sync 機能で現在サポートされているのは、NFSv3 のみです。SMB ボリューム間で同期する場合は、を使用します "Cloud Sync サービス" 直接（cloudsync.netapp.com）。

#### 手順

1. [同期] ページまたは [ボリューム] ページでボリュームの [同期] タブに移動します。
2. Cloud Sync 関係を作成するには、\*新しい関係を作成\* をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します。
  - ボリュームにデータを同期するには、\*ターゲットとしてボリュームを使用する\* を選択します。
  - ボリュームからデータを同期するには、\*ソースとしてボリュームを使用\* を選択します。

The screenshot shows the 'Create relationship' dialog box. The 'Volume Required' field is set to 'Vol1-West (f23657e9-8d77-2057-8dac-cba)'. The 'Use volume as target' tab is selected. In the 'Source' section, the 'Protocol' is 'NFS', the 'Host Required' is '172.31.13.49', and the 'Export Required' is '/etc'. In the 'Target' section, the 'Protocol' is 'NFS', the 'Host Required' is '172.17.51.84', and the 'Export Required' is '/sharp-desperate-walsh'. The checkbox 'Delete files on target when deleted from source' is unchecked. The 'Create relationship' button is highlighted in blue.

4. [\*Host\*] フィールド（何も指定されていない場合）に、同期または同期する NFS サーバの IP アドレスを入力します。

しばらくすると、使用可能なエクスポートのリストが自動的に検出されます。

5. [\*エクスポート\*（\*Export\*）] フィールドで、使用可能なエクスポートのいずれかを選択する。
6. （オプション）ターゲット上のファイルをソースから削除するときファイル削除する場合は、ターゲット上のファイルを削除する\*（\*Delete files on target when deleted from source\*）ボックスをオンにします。
7. [関係の作成（Create Relationship）] をクリックする。

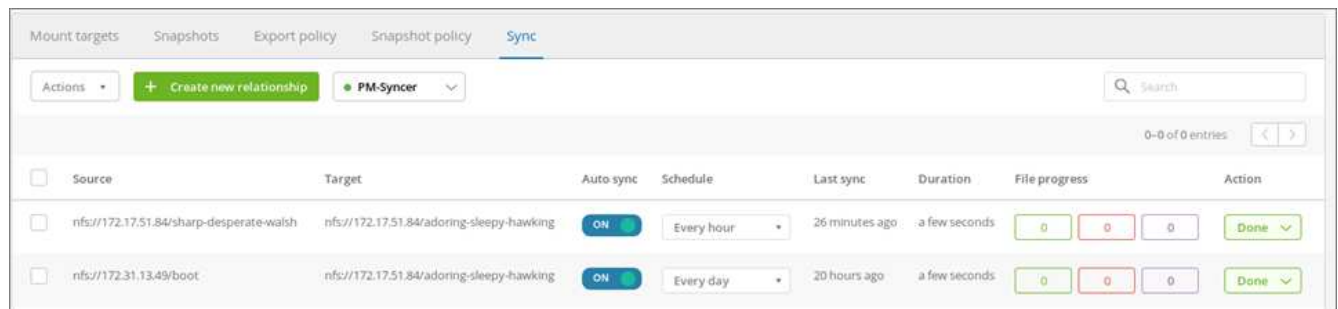
関係のステータスが表示され、ファイルの進捗状況のフィールドにコピーされるファイル数が表示されます。

## Cloud Sync スケジュールを変更する

Cloud Sync 関係を最初に作成すると、自動同期がデフォルトで有効になり、1日に1回実行するようにスケジュールされます。Cloud Sync スケジュールは必要に応じて変更できます。

手順

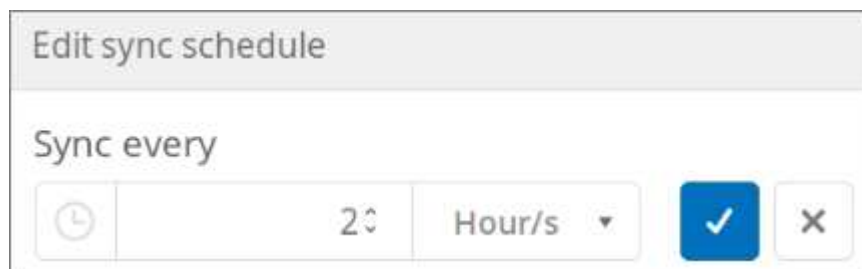
1. Cloud Sync 関係を確認するには、Volumes（ボリューム）ページでボリュームの Sync（同期）ページまたは Sync（同期）タブに移動します。



2. Cloud Sync 関係の自動同期をオフにするには、関係の青い \* オン \* スライダをクリックします。



3. 同期スケジュールを変更するには、[スケジュール]の下のドロップダウンリストをクリックし、[\* 曜日 / 秒]または[\* 時間 / 秒]を選択し、間隔番号を選択して、チェックマークをクリックします。



4. Cloud Sync をすぐに開始するには、[アクション]の下の[\* 完了 \*]をクリックし、[今すぐ同期 \*]を選択して、もう一度[\* 今すぐ同期 \*]をクリックして確定します。

## Cloud Sync 関係を削除しています

不要になった Cloud Sync 関係を削除できます。

手順

1. [同期] ページまたは [ボリューム] ページでボリュームの [同期] タブに移動します。
2. 削除する関係のボックスをクリックし、\* アクション \* をクリックして、\* 関係の削除 /s \* を選択しま

す。

3. 確認ダイアログボックスで「削除」と入力し、「削除」をクリックします。

## Cloud Sync データブローカーの削除

不要になった Cloud Sync データブローカーを削除することができます。

このタスクでは、Cloud Volume からデータブローカーを削除しますが、AWS でデータブローカーインスタンスが削除されることはありません。

AWS でデータブローカーインスタンスを削除するには、アカウントの AWS コンソールでブローカーの EC2 インスタンスを探し、必要に応じて終了する必要があります。

データブローカーを削除するには、そのデータブローカーを使用するすべての Cloud Sync 関係が削除されている必要があります。

"Cloud Sync 関係を削除しています"

手順

1. [同期] ページまたは [ボリューム] ページでボリュームの [同期] タブに移動します。
2. データブローカーの名前をクリックし、ごみ箱のアイコンをクリックして、データブローカーを削除します。
3. 確認ダイアログボックスで「削除」と入力し、「削除」をクリックします。

## Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.